

続報！！ ～本人・監督よりコメントをもらいました！～

10月20日に行われたプロ野球の新人選手選択会議（ドラフト会議）で、
本校硬式野球部 飛田悠成（内野手）が
福岡ソフトバンクホークスから育成 12 位で指名されました。



硬式野球部 3 年の仲間たちと

私が金沢高校を選んだ理由は“文武両道”というところに魅力を感じたからです。部員をはじめとする友人たちと部活動や勉強で切磋琢磨し、学校生活を送ることが出来ました。また、金沢高校の校是である自主自律の精神を学び、自分で考え自主的に動く力が身に付きました。

高校では様々な厳しいことがありました。そんな時こそ『そう！イチカナは“ぜんぶ”やる！』という言葉思い出し、仲間と共に乗り越えることが出来ました。

プロでは金沢高校で学んだことを忘れずに、今まで支えてくださった方々への感謝の思いをプレーで返せるように頑張ります。

飛田 悠成



球団から指名の連絡を受けた直後の様子

10月20日に行われた2022年プロ野球の新人選択会議（ドラフト会議）に本校野球部から飛田悠成（投手・内野手）が指名を受けました。本校では初となるプロ野球選手の誕生に多くの方に激励のお言葉をいただきました。

71期は新型コロナウイルスの影響で入学が2か月遅れた学年です。思い描いていた高校生活とは程遠い生活を日々送っています。高校生という二度と経験することができない、貴重で濃密な時間でさえも様々な活動が制限されました。部活動も同様で、何度も何度も追い打ちをかけるように活動が制限されてきた中、担任から「思っきり野球やりたいよね？」という問いに飛田は「自分でやっているから大丈夫です！」と言い切ったことがありました。人との距離を保つことが求められている時代ですが、チームメイトと共に孤独を共有し、チームで野球に対する情熱を燃やし続け、支え合ってきたからこそ出た言葉なのだと振り返ります。

2022年ドラフト会議では周囲の人々に支えられ感謝の気持ちを忘れずに本人がひたむきに努力した結果が報われ大変嬉しいです。

金沢高校のグラウンドでひたむきに練習してきた飛田悠成は“職業プロ野球選手”という厳しい世界に飛び込もうとしています。超えることが厳しい大きな壁にぶつかることが必ずあります。本人が持っている人の善さに加え、周囲の人に助けられ、支えられながら成長を続けてくれると期待しています。



神奈川新聞社の取材中

最後になりましたが、本校野球部を支えてくださっている野球部関係者、OB・OG、地域の皆様には日頃よりご声援をいただき感謝申し上げます。皆様の声援が野球部の背中を押し、努力を続けることができている。これからも支えてくださっている方々に勇気と希望を与えることができるよう努めていきます。